

富士山を学び、守る

富士山憲章

2007.
9

No.83

ニュースレター



8月1日に富士山山頂で行われた山梨・静岡両県合同憲章キャンペーンの様子。大河ドラマにちなんだ演出も

マナーを守り、きれいな富士山を！ —富士山憲章キャンペーン実施される—

登山者や観光客で賑わう夏山シーズンの富士山で、富士山憲章の普及、啓発を呼びかける富士山憲章キャンペーンを行いました。

7月24日から31日まで(27, 30日を除く延べ6日間)五合目において、一般公募で集まっていたいただいた地元のボランティアグループや高校生など延べ122人のボランティアの皆さんと、富士山五合目ロータリー周辺や登山道入口で、富士登山でのマナー、環境保全意識の向上を呼びかけました。6日間で3250人の登山者に啓発物品を配布しました。

そして、8月1日には富士山山頂にて、山梨県、静岡県合同で富士山憲章山頂キャンペーンを行い、両県の富士山憲章推進会議関係者らが多数参加しました。今年の大河ドラマの風林火山にちなんで山本勘助や由布姫も登場し、富士山の環境保全への協力を呼びかけながら、富士山憲章をプリントした日本手

ぬぐいや絆創膏・世界遺産推進グッズ(しおり)など約400セットを配布しました。

富士山ボランティアセンターでは、富士山憲章の一層の普及啓発に向けて、夏山シーズン以降も、様々な機会をとらえて、このような活動を続けていきます。



「富士山の環境保全にご協力を！」富士山五合目で登山者に呼びかけるボランティアの参加者

Contents

今月の話題

富士山憲章ニュース

- 富士山憲章キャンペーン実施される
- 富士山夏山シーズンの状況
- 吉田口登山道エコトレッキング開催
- 富士山美化清掃活動報告(7月～8月)

富士山レンジャーレポート

- 山麓キャンペーンを実施!
- 富士山から写真絵日記

お知らせ

- 富士山関連イベント情報

クイズQ?

表紙のタイトルをよこぎっていった動物の足跡は、いったいどれでしょうか?

- ①タヌキ
- ②クマ
- ③リス

正解は最後のページだよ

富士山夏山シーズンの状況

～登山者数の増加にみる成果と課題～

本年の夏山シーズンは当初、例年にない残雪の多さから、7月1日の開山ができない登山道もあり、(吉田口登山道は除雪作業により予定通り開山)その後も台風の通過が続くなど波乱続きのスタートとなりました。しかし、8月からは一転、連日の好天や富士山の世界文化遺産登録への関心の高まりなどを背景に記録的な登山者が訪れました。山梨県側の吉田口登山道においては、シーズンを通じての登山者数が16年ぶりに19万人を突破し、15万人前後であった例年の実績を大きく上回る結果となりました。(表参照)

また、山小屋にとっては改革の年となりました。まず、頭と足を互い違いにして寝るすし詰め状態の解消を目標に、宿泊予約を限定するなどして十分な睡眠が取れるように宿泊環境が改善されました。また、本年度からは、吉田口登山道の山小屋すべてに環境配慮型のトイレが整備され、清潔で使いやすくなると同時に、し尿の適正な処理により環境負荷の大幅な軽減が実現しました。さらに七合目以上の山小屋にAEDが設置されるなど、安全登山への取り組みも進んでいます。こうした山小屋改革も多くの登山者を呼んだ一因といえそうです。

一方で、渋滞や混雑が深刻な問題として残りました。富士スバルラインでは10日間のマイカー規制が実施されましたが、期間外においては深刻な渋滞が発生し、渋滞緩和策も予想以上の乗り入れの前には効果が上がりませんでした。登山道においては、深夜から御来光直前の未明にかけて、登山道上部に登山者が集中し、延々と続く人の行列はほとんど動かなくなるという状態が出現しました。こうした現象はいずれも週末に顕著に現れています。今後はこうした問題の解決が課題といえます。

吉田口登山道における登山者数の推移

年度	7月	8月	合計
平成12年	62,607	101,317	163,924
平成13年	62,554	77,006	139,560
平成14年	70,144	100,891	171,035
平成15年	60,568	90,236	150,804
平成16年	62,971	84,090	147,061
平成17年	62,242	79,230	141,472
平成18年	62,544	104,824	167,368
平成19年	63,483	130,524	194,007

(六合目安全指導センター調べ)

富士山美化清掃活動報告

(H19 7月～8月)

実施日	主催・イベント名	参加人数	活動内容・実績
7/8	企業の森	100	北麓公園調整池北側 1630Kg
7/8	チームレッツフジ	100	恩賜林組合周辺 30Kg
7/11	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖湖畔 1290Kg
7/14	富士通ビジネスシステム労組	18	本栖
7/14	富士山クラブ	50	富士ヶ嶺
7/20	一水工業	2	船津登山道沿い不法投棄防止パトロール
7/21	毎日新聞	80	本栖
7/23	フィリップモリスジャパン	100	本栖
7/25	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖湖畔 1560Kg
7/27	茅ヶ崎市教育委員会	30	西湖
7/29	フェニックス	120	本栖
8/2	麻浦高校(ソウル)	80	富士山五合目 1Kg
8/3	茅ヶ崎市教育委員会	30	野鳥の森公園付近林道
8/4	西桂町	114	三つ峠登山道、三つ峠グリーンセンター周辺 500Kg
8/6	ボランティアグループハーツ	100	ハーブ館～富水
8/10	茅ヶ崎市教育委員会	30	野鳥の森公園付近林道
8/18	コスモアースコンシャスアクト	180	林道本栖線
8/21	トムソーヤクラブ	100	野鳥の森公園付近林道
8/21	富士急行	15	富士山山頂、下山道 7Kg
8/25	富士山クラブ	30	野鳥の森公園付近林道
8/30	山梨県行政書士会	20	富士スバルライン三合目周辺
8/31	WAVOC	160	本栖林道、本栖橋付近林道

富士山エコトレッキング開催

～歴史溢れる吉田口登山道にて～

8月8日のやまなし「山の日」に、富士講の登山が盛んだった江戸時代の往時を忍ばせる数多くの遺構が残る吉田口登山道にて、富士吉田市と共催で富士山エコトレッキング(吉田口登山道コース)を開催しました。早朝から22名の参加者が集まり、約6時間かけて、時折落ちていくゴミを拾いながら、自然豊かな吉田口登山道を五合目まで歩きました。馬返しなどの各ポイントでは、富士講に彩られた歴史や豊かな自然について解説が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。なお、富士山ボランティアセンターでは秋の紅葉シーズンに山麓部でエコトレッキングを計画しております。詳細は9月下旬頃HP等でお知らせします。



吉田口登山道を登るエコトレッキングの参加者

現場 第11回 富士山レンジャー REPORT

山麓キャンペーンを実施！

～マイカー規制中シャトルバス乗客にマナー啓発～

一年で富士山が最も賑わいを見せるのは、お盆を中心とした8月中旬です。毎年この時期に、富士山の自然保護と交通渋滞解消を目的に富士スバルラインではマイカー規制が行われています。マイカー規制中は一般の来訪者は山麓でバスに乗り換えて、五合目へ向かいます。この時期に効率よく利用者にマナー啓発をできないかと考え、始めたのが山麓の駐車場でシャトルバスへ乗り換える乗客への啓発活動です。

この取り組みは富士山レンジャーの活動がスタートした年から開始し今年で3年目になります。今年は富士山ボランティアセンターで行っている五合目・山頂



特集 富士山式 エコ登山のススメ

7月1日からお盆までのおよそ1ヶ月間、本格的な登山シーズンである富士山は、1年で最も登山者で賑わう時期となります。富士山登山のシーズンは、登山客が約150万人に達するとされており、日本でも人気のある登山道の一つでもあります。

登山客に、自然環境を保護するよう、啓発活動を行います。そのために、自然環境を保護するための啓発活動を行います。登山客に、自然環境を保護するよう、啓発活動を行います。そのために、自然環境を保護するための啓発活動を行います。

①ゴミは捨てない、おさない、持ち帰る
自然環境を保護するために、ゴミを捨てない、おさない、持ち帰る。自然環境を保護するために、ゴミを捨てない、おさない、持ち帰る。

②とっていいのは写真だけ！
自然環境を保護するために、とっていいのは写真だけ。自然環境を保護するために、とっていいのは写真だけ。

③トイレのチップ忘れなくて
自然環境を保護するために、トイレのチップ忘れなくて。自然環境を保護するために、トイレのチップ忘れなくて。

④しっかり見極めて登山道
自然環境を保護するために、しっかり見極めて登山道。自然環境を保護するために、しっかり見極めて登山道。

富士山レンジャーと?
富士山レンジャーとは、富士山の自然環境を保護するために活動しているボランティアです。富士山レンジャーとは、富士山の自然環境を保護するために活動しているボランティアです。

シャトルバス乗客に手渡した啓発パンフレット。環境保全への意識は毎年高まっているようだ。

キャンペーンと連携させ「山麓キャンペーン」と名称を変更して行いました。山麓キャンペーンではマイカー規制への理解や「ゴミを持ち帰る」「動植物を採取しない」など利用マナーを普及するパンフレットと啓発物品を配布し富士山の環境保全を呼びかけました。また、来訪者に富士山を安全に楽しんでもらうため、富士山の天気情報や五合目周辺の自然環境を紹介するボードを作成し情報提供を行いました。パンフレットを配布するだけでなく、なるべく来訪者と話をするように心がけました。特に登山者には声をかけ登山に関する情報の提供や質問・相談などにも応じました。

例年になく天候に恵まれた今年には富士山への来訪者が多く、8日間の啓発活動で過去最多となる、2300以上の啓発パンフレットを配布する事ができました。

富士山から 夏!グリーン シーズン編 写真絵日記 第3回



1. したたかな花

富士山七合目の3000mを超える岩場でへばりつくように白い花が咲いていました。イワヒゲ(岩髭)という植物でこう見えても木の仲間です。ひよろひよろと伸びた葉が髭のようにみえませんか?

2. 大盛況?

8月は好天が続き、富士山は大盛況!特に週末は多くの登山者が押し寄せます。

空気も薄く、傾斜もきつくなる頂上直下では、まさに「行列のできる」山となりました。(写真は8月25日撮影)



3. 巨大きのご発見!

夏を過ぎると森の中ではきのこがお目見えします。写真は色鮮やかなタマガタケです。きれいな形のまま大変大きく成長しており、カサは20cmほどもありました。見た目は派手ですが、食べられるキノコです。



富士山関連イベント

体験しよう

秋の自然ときのご観察会

○秋の自然ときのご観察を行い自然を満喫しよう。
講師: 柴田尚(山梨県森林総合研究所 主幹研究員)
開催日時: 平成19年10月6日(土)
 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00
開催場所: 山梨県環境科学研究所周辺の森
定員: 50名(午前20名 午後30名) ※定員になり次第締切
対象: 小学生から成人(高校生以下は保護者同伴)
 ※県内在住・在勤者に限る
参加料: 100円(傷害保険料)
問い合わせ: 山梨県環境科学研究所 (TEL0555-72-6203)

水源の里・忍野八海クリーンキャンペーン参加者募集

「忍野八海世界文化遺産登録を目指して!!」

開催日時: 平成19年10月7日(日) 10:00集合
集合場所: 村宮橋向無料駐車場
実施内容: 10:00 開会セレモニー
 10:20 清掃開始(忍野八海周辺・東海自然歩道・忍野入口)
 12:00 清掃終了(昼食)
 13:00 ふるさと忍野案内人による忍野八海周辺の観光ガイド
 14:00 解散
服装: 汚れても平気な服装
その他: 昼食(パン等の簡単な軽食)、ゴミ袋、軍手は事務局で用意
 小雨決行、荒天中止
申込方法: 申込用紙に記入し、忍野村観光協会事務局に提出(FAX可)
申込締切: 平成19年10月5日(金)
問い合わせ: 忍野村観光協会事務局
 (TEL0555-84-4222 / FAX0555-84-3717)

学ぼう

「御師家のアルバム」

○富士登山への拠点として、あまたの参詣登山者を受け入れてきた御師の活動や生活を撮った写真資料を中心に紹介する企画展
開催日時: 平成19年9月15日(土)~10月21日(日)
 9:30~17:00(最終入館16:30)
観覧料: 大人300円 小中学生・高校生150円
 (土曜日は小中学生・高校生無料)
問い合わせ: 富士吉田市歴史民俗博物館 (TEL0555-24-2411)

富士山シンポジウム07

—国際交流の場としての可能性—

開催日時: 平成19年10月18日(木) 14:00~17:00
開催場所: ハイランドリゾート ホテル&スパ 2階バンケットホール富士
出演者: 基調講演 柿澤弘治/パネルディスカッション ジルダ・ル・リデック(駐日フランス特命全権大使) 横内正明(山梨県知事)、他
入場: 無料
申込方法: 郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、読売新聞甲府支局「富士山シンポジウム係」にはがき、またはFAXで申込。
問い合わせ: 読売新聞甲府支局 (TEL055-235-2222)
 〒400-0034 山梨県甲府市市1-9-1

富士山憲章

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動を呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的としています。

2007 Mt.FUJI ECO CYCLING

富士山一周参加者募集

楽しもう

開催日時: 平成19年10月13日(土)~14日(日)
大会内容: 13日(土)・富士山クリーンアップ活動&セミナー
 14日(日)・富士山一周サイクリング(約100km)
 富士山ファミリーサイクリング(約25km)
募集人員: 富士山一周サイクリング◇1,000名、富士山ファミリーサイクリング◇300名、富士山クリーンアップ実践活動◇300名、富士山クリーンアップ・セミナー◇原則全員参加
応募締切: 定員になり次第締切
参加資格: 富士山一周サイクリング◇中学生以上の健康な男女で本大会コースを規定時間内に完走できる自信のある方。富士山ファミリーサイクリング◇小学生以上の健康な男女で本大会コースを規定時間内に完走できる自信のある方
参加自転車: 前後にブレーキを備えた一人乗りの自転車。
 (道交法に規定する自転車)※ヘルメットとグローブ着用
参加料: 富士山一周サイクリング 6000円(高校生以下3000円)
 富士山ファミリーサイクリング 2000円 ※保険料等含む
申込先: スポーツエントリーからの申込
 (インターネット、携帯電話) <http://www.sportsentry.ne.jp>
 (電話)0570-037-846 ※平日10:00~17:30、土曜12:00~17:00
 (ファックスで) FAX0121-37-8434
問い合わせ: (財)日本サイクリング協会内 2007Mt. FUJIECO・サイクリング実行委員会 (TEL03-3583-5628)

第3回全国公募展「わたしの富士山」作品展

○あなたの心に残る富士山を描いた絵手紙の公募展。応募作品は全て展示
展示期間: 平成19年9月26日(水)~12月3日(月)
【当公募展のみの観覧は無料】
展示場所: 小池邦夫絵手紙美術館企画展示ホール
問い合わせ: 小池邦夫絵手紙美術館 (TEL0555-84-3222)

「きのこ写真展」

○「人と自然の共生」をテーマに山梨県内に生息しているきのこを写真やパネルで展示。
開催期間: 平成19年9月22日(土)~11月25日(日)
開催時間: 9:00~17:00(最終入館16:30 但し、最終日の最終入館は15:00)
開催場所: 山梨県環境科学研究所 本館1階ホール
入場: 無料
問い合わせ: 山梨県環境科学研究所 (TEL0555-72-6203)

クイズの答え:③のリスです

富士山に住むリスは、ニホンリスという種類です。冬眠はせず、好物のドングリやマツボックリを食べて主に樹上で生活しています。足跡は、前に出ているのが後ろ足です。跳び箱を飛ぶように走るからですね!



発行: 富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山山岳担当)

TEL: 0555-20-9229

FAX: 0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: fujisan@eps4.comlimk.ne.jp

本誌のバックナンバー、メルマガの購読は「富士の国やまなし観光ネット」へ!

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan3776>

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するための活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(山梨県と地元市町村等から構成される)によって運営されています。